

そけい

## 鼠径ヘルニアの治療の現状 パート4



耳原総合病院 外科部長  
山口 拓也

第1回日本腹腔鏡下ヘルニア手術手技研究会  
2012年9月15日、名古屋開催のシンポジストに選ばれました。

鼠径部ヘルニアは、非常によく遭遇する疾患です。重いものをもったりしなくても筋肉の壁のすきまから飛び出してくる状態です。腹壁の一部のたるみでもいまいしょうか？  
あるときに、はっと気づかれることが多いです。放っておいても変化の少ない、小さなヘルニアもあります。しかし自然なおこりはほとんどありません。時とともに少しずつ大きくなってきますし、症状をうったえることも多くなります。ですからほとんどのヘルニアは治療の対象になります。特別な重い持病などがなければ手術が推奨されます。

鼠径ヘルニアは、初めは出たり入ったりを繰り返していますが、放置していると元に戻らなくなったり、さらに何かの要因でヘルニアの出口で腸管が締め付けられるような状態になることがあります。このときは腸管への血流がなくなり、腸管壊死が起こります。このようなことは突然起きますので、緊急手術が必要となります。できれば避けたいので、あらかじめ早めの手術をおすすめします。

一度、ヘルニアになってしまいますと薬での治癒は望めず、根本的治療は手術しかありません。もちろん古くから使われている“脱腸帯”や、“ヘルニアバンド”などでおさえつけても、自然に治ることはありません。子どもさんのヘルニアと異なり、成人のヘルニアは多くの場合、加齢によるものと考えられているためです。

従来、手術はヘルニアの袋を処理した後に、ヘルニアの出でくる“孔”（ヘルニア門）を縫合し補強閉鎖するのが一般的でしたが、1990年代からは縫合部分に緊張をかけず、再発率を下げ

ることを目的に人工のメッシュシート（ポリプロピレンやポリエチレン）を使用した手術が世界的にも一般的になっています。Tension-free repairと呼ばれますが、従来の手術に比べ再発率は下がっており、その確率は2-5%程といわれています。このメッシュシートは、世界中で様々な種類が製造、販売されていますが、メッシュシートをどのような手技で、どのような形のもの、どのような位置に配置補強するかで、多くの術式が存在しています。

### なぜ腹腔鏡下手術？

ヘルニアのタイプもご存知のとおりいろいろあります。外鼠径、内鼠径、大腿ヘルニア等があり、それらが組みあわさったタイプなど。これらを腹腔内から覗くと本当に千差万別です。いわゆる前方からのヘルニア手術（従来法やメッシュプラグ法など）では分かり得ない情報を得ることができます。これによって最適な位置にメッシュをおくことができ、限りなく再発をへらせるのではと感じています。

### 痛みは最小限に

手術をうけられる患者様の不安の代表は創とその痛みでしょう。私も数回手術を受けていますが、やはり痛みに対する恐怖は軽視できません。このような精神的な苦痛を取り除くために、手術の効果に影響なく、創部を可能な限り小さくすることを考えました。

腹腔鏡下手術の場合、5mm以下の創しか用いず、このため

筋膜の縫合を必要としません。

これによって無理に体の一部がひっぱられることがなくなります。皮膚閉鎖には少数の真皮縫合を行った上で固定用テープあるいはダーマボンド（皮膚保護接着剤）を使用します。このため最低限の痛みのみです。またこの小さな創部にも十分に局所麻酔を用います。

丁寧な腹膜前腔剥離を行い、なるべく神経に直接ふれないように行います。このようにすることで術後の回復は早くなり、従来手術で問題となる神経痛などで悩まされることも少なくなると考えます。

創の状態は上記のような創ですから非常に小さいです。術後も日数がたつにつれ創部はめだたなくなります。こうしたことも手術後の患者様には大切なことと考えています。

### 利便性の追求 なるべく日常生活は変えずに 日帰り手術への取り組みも

ビジネスマンや自営業の方、小さなお子様のいるお母さんなど、職場や自宅を長時間あけることが難しい方や、高齢で病院にいと調子が悪くなる方など短期の入院期間を希望される方はたくさんおられると思います。このようなニーズにも答えたいと当科では、スタッフのスキルアップ、麻酔の工夫などを行い日帰り手術にも対応できるようにしました。

日帰り手術の希望があり、一人暮らしでなく、周りにケアをしてくださる方がおられる方が対象となりますが、日帰り手術に対する注意点を理解したスタッフが、患者様の生活歴に配慮しながら、不安を取り除かせていただきます。

### 困難症例への取り組み

- 下腹部の手術既往のある患者様  
(特に前立腺癌術後、総腸骨動脈系手術、腎移植後など)
- 抗凝固剤内服され中止困難な患者様
- 腹水のある患者様
- 妊娠中の患者様

このような方々には前方アプローチでも定評あるリヒテンシュタイン法をおすすめします。局所麻酔で行え、大腿ヘルニアを除く、鼠径部ヘルニアに用いることができます。腹腔鏡下ヘルニア根治術にくらべて創は少し大きく（4-5cm）となりますが、再発率も遜色なく（<1%）、術後の社会復帰も1週間程度、（入院は術後1日程度、日帰りも十分できます）と有用な方法です。

ケースバイケースで患者様に負担の少ない方法を選びたいと考えています。まずは当院外科外来を受診してみてください。



リヒテンシュタイン先生がいたサンタモニカ（カリフォルニア州）のCedars-Sinai Medical Center



腹腔鏡下ヘルニア手術で非常に有名なEdward Phillips先生を訪問

## 2014年5月 移転 地域のつながりを育み 高齢者に安心な“たつみ村”の実現へ

Interview

たつみクリニック 院長  
たつみ 異 雄三



■ 医師を目指したきっかけは？  
幼少時、母が子宮がんになり広汎子宮全摘術を受け、助けてもらった事に変感激し、医師という仕事にあこがれた。

■ 診療の際に心がけていることは？  
わかりやすい言葉で説明すること。  
患者さんに敬意を持って接すること。

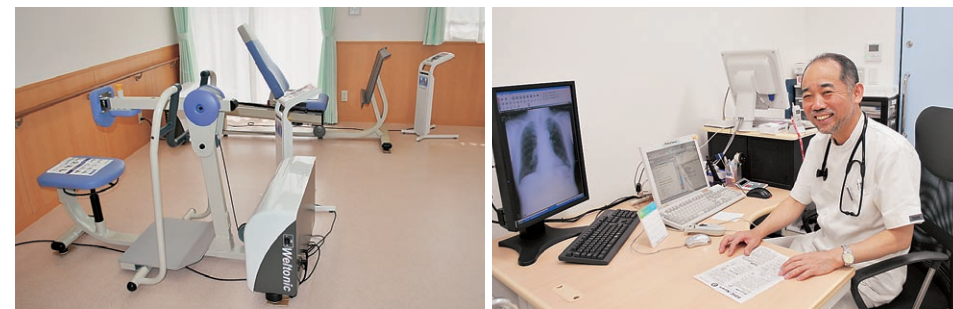
■ 地域医療について  
患者さんの病状と生き様に即した医療の提供が必須。各機関や自治体との連携も大切。長年やっていて大変ですが、やりがいのあるところが魅力的。

■ 耳原総合病院への希望・要望  
在宅医療を進める上で、バックアップ病院の役割を果たしてもらえたら本当に有り難い。  
頼りになる地域医療の守護神になっていただきたい。

■ 最後に一言お願い致します  
いつもお世話になり、助かっています。  
各職種の迅速な対応に感謝しています。

- 血液型 B型
- 星座 てんびん座
- 趣味 ドライブ、観劇
- 略歴

昭和59年 大阪市立大学卒業  
昭和61年 神戸徳洲会病院入職  
昭和63年 茨木田中病院入職  
平成5年 たつみクリニック開院  
平成26年 “たつみ村”開設



## たつみクリニック

〒592-8334 大阪府堺市西区浜寺石津町中1丁3-9  
TEL.072-247-9411 HP. http://www.tatsumiclinic.com

スタッフ  
医師1名 看護師14名 事務6名 他29名

医療機器  
単純レントゲン撮影、超音波、心電図、骨塩定量、脈波図、スパイロメーター

診療科目	外来診療時間	月	火	水	木	金	土
内科・外科 小児科・婦人科 リハビリテーション科	9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○
	17:30 ~ 19:30	○	○	×	○	○	×

休診：水曜・土曜午後、日曜・祝日